

広島大学第 62 回大学祭参加企画

「ビオトープで遊ぼう」～水生生物の観察～ 実施報告

フィールド科学系部門 生物科学班
塩路 恒生

1. 実施日時

平成 25 年 11 月 3 日 9:00～17:30

2. 実施場所

ふれあいビオトープ(旧工学部ビオトープ)

3. 主催

技術センター

4. 企画実行委員

川北龍司, 清水高, 坂下英樹, 森岡常雄, 野口靖祐, 宇都武司, 山口信雄, 岩崎貞治, 塩路恒生

5. 実施内容

第 62 回広島大学祭において, 小学生・幼稚園児を対象とした地域社会の親子に自然豊かなキャンパスの情報を公開することと水生生物・海洋生物とのふれあいの場を提供することを目的に参加した.

【企画事項】

- 1) 虫取り網によるメダカ, 水生生物の捕獲と観察
- 2) メダカのプレゼント
- 3) ビオトープの生き物の展示と観察
- 4) 海の生き物の展示と観察, 珍魚すくい
- 5) 水調べ体験, ザリガニ釣り体験
- 6) お絵かきコーナーの提供

事前の業務として, 10 月 18 日に竹原ステーションにて企画用の小魚採集, 11 月 1 日に会場準備を行った. 当日は, 各コーナーにおいて生き物とのふれあい企画を実施した. 特に, 新企画のザリガニ釣りと年々好評となっている珍魚すくいは, 参加者の人気を集めた. 今回, 学生環境サポーター, いきもの会サークルより 10 名の学生の協力があり, 技術センター職員と学生が上手く連携しながら, 受付, 総務, 観察係, プレゼント係, ビオトープ係の業務を分担した.

◎ 来場者: 46 組 134 名

(大人 75 名, 小学生 45 名, 幼稚園・保育所 14 名)



6. まとめ

終日、雨が降り来場者はまばらだった。数年前よりビオトープにアメリカザリガニ、ウシガエルなどの外来種が侵入し、アカハライモリ、ヤゴ、オオコオイムシなど多くの水生生物が減少したため、今回、水生生物の捕獲だけでなく、ザリガニ釣りなどの企画やアンケートにより、外来種の問題に対して考えてもらう場を設けた。「ビオトープで遊ぼう」が単なる体験だけでなく、広く地域の自然環境問題を考える場となるように、今後もさらにいろいろな視野から企画を検討していきたい。